



アジア・アジアパラ競技大会に 関する懇談会 －新たな理念の構築に向けて－

2022年11月21日（月）
愛知県・名古屋市

愛知・名古屋大会の概要

	アジア競技大会	アジアパラ競技大会
主 催 者	アジア・オリンピック評議会 (O C A)	アジアパラリンピック委員会 (A P C)
開 催 期 間	2026年 9月19日(土)～10月4日(日)	2026年10月の7日間 (想定)
実 施 競 技	約40競技程度 (想定)	18競技 (想定)
参 加 国 ・ 地 域	O C A加盟の45の国と地域	A P C加盟の45の国と地域
選手団 (選手・ チーム役員)	最大15,000人	4,000人程度 (想定)
選 手 村	名古屋競馬場跡地 (その他、ホテル等を活用)	

開催意義（アジアパラ競技大会開催表明より） 2022年3月28日

- アジアのスポーツの発展や友好と平和の促進に貢献
- 東京2020大会の開催によるスポーツへの関心の高まりを引き継ぐ、日本のスポーツ界の次なる大きな目標
- 交流人口の拡大や国際競争力の強化など、愛知・名古屋はもとより、中部圏、さらには、日本全体の成長に貢献
- 日本のセンターとしての愛知・名古屋のブランドを確立
- 成長著しいアジア地域と愛知・名古屋及び中部圏、さらには日本とのより強固な連携の構築に寄与
- 愛知・名古屋が、日本、さらにはアジアの障害者スポーツをリードすることにより、障害への理解促進や、障害のある方の社会参加の促進に大きな役割を果たし、ひいては、多様性を尊重し合う共生社会の実現に貢献する

大会コンセプト（開催構想より） 2016年9月25日策定、2022年3月28日パラを追加

- **アスリートファーストの視点**

アスリートが最高のパフォーマンスを発揮できる舞台を用意

- **既存施設の活用**

既存スポーツ施設の活用を中心に、必要に応じて、仮設での対応とすることで、大会開催時及び開催後における経費の低減を図る

- **先端技術の駆使**

様々な分野に最新技術を導入し、快適で安心・安全な競技環境及び滞在環境を提供

- **伝統と県民・市民性に触れるおもてなし**

歴史や文化が感じられるおもてなしで愛知・名古屋に訪れる方を歓迎

- **愛知・名古屋大会の開催を誇りに、さらなるスポーツ文化の普及へ貢献**

大会後においても様々な国際大会を開催し、地域活性化を図るとともに、アスリートの競技力の向上や、スポーツを楽しむ文化の普及に貢献

東京2020オリンピック・パラリンピック（以下、東京2020大会）の理念

【5本の柱】

● スポーツ・健康

- ・スポーツの力でみんなが輝く社会へ
- ・「スポーツに力」を活かし、誰もが自分の持つ力を発揮して、みんなが輝く社会を目指す

● 街づくり・持続可能性

- ・東京2020大会を訪ねる人にとって、使いやすくなりやすいインフラを構築し、世界へ発信
- ・東京2020大会を契機として、世界の人々と持続可能な社会のビジョンを共有

● 文化・教育

- ・文化・教育の各種取組を通じて、より多くの人々を東京2020大会に巻き込み、大会の機運を醸成

● 経済・テクノロジー

- ・東京2020大会は、日本経済の力強さや先端テクノロジーを世界にアピールする絶好の機会

● 復興・オールジャパン・世界への発信

- ・東京2020大会を日本中のできるだけ多くの人々の参画により盛り上げる。
- ・世界中から注目が集まる機会として、東北の復興した姿や日本の文化・経済・テクノロジーなど世界に発信

東京2020大会における成果と課題

【成果】

アスリートの活躍による感動

国際競技力の向上（過去最高の金メダル数）

都市型スポーツの導入

自国開催による国民の感動

世論調査での肯定的な意見「開催されて良かった」
共同62.9%、朝日56%、読売64%、NHK78.4%

困難（コロナ禍）の中での開催

コロナ禍での安心安全な大会運営

参加関係者の縮減などの簡素化

リモート応援など新たな観戦方法の提供

※大会報告書から抜粋

東京2020大会における成果と課題

【課題】

新型コロナウイルス感染症

大会の1年延期
スポンサーからの追加協賛（期間延長）

議論のある中、無観客での開催

スポンサーのPR自粛
交流事業の内容変更・中止・延期

その他の課題

新たに整備した施設の大会後の利用
大会規模の肥大化
スポンサー選定に係る贈収賄事件
大会幹部・関係者の人権に係る発言

※報道各社の社説・記事から課題を整理

アジア・アジアパラ競技大会の期待される役割

- ① 新たな時代の国際協調の源流となること
- ② ダイバーシティ & インクルージョンの推進
- ③ 国際スポーツイベントの事業モデルのイノベーション
- ④ スポーツにとどまらずアジアと日本との一大交流の祭典に寄与

新たな理念の構築に向けて

新たな理念の構築に向け、以下の観点からご意見をいただきたい。

- ① 国際スポーツ大会に求められているもの（時代のニーズ）とは。
- ② 国際スポーツ大会の新たな事業モデルとは。
- ③ 国民（県民・市民）の広範な支持と参画意欲を得るために取り組むべきことは。
- ④ 持続可能な社会の発展に対し、国際スポーツ大会が果たす役割とは。
- ⑤ ダイバーシティ & インクルージョンの観点から、国際スポーツ大会が果たす役割とは。

今後のスケジュール（案）

今後、年間2回程度開催し、意見を集約し、提言をとりまとめる予定。

区 分	2022 年度		2023 年度		
	11 月	3 月	4 月	9 月 10 月	2 月
懇談会	第 1 回	第 2 回	第 3 回		第 4 回
O C A 関係				杭州大会	

※開催時期は変更の可能性あり

(参考) アジア競技大会の見直し

10月のOCA総会で将来に向けて大会のあり方を見直す方針が承認された

<アジア競技大会の見直し>

- 杭州大会の選手団人数が約20,000人となるなど規模が大きくなり過ぎて開催都市に限られる恐れが出てきている。
- 例えば団体競技について、これまでのオープンエントリーから参加資格を設けるなど、将来に向けて大会のあり方を見直す。
- 但し、様々な国の選手が参加するというアジア競技大会の本来の趣旨・目的とのバランスをとる必要がある。